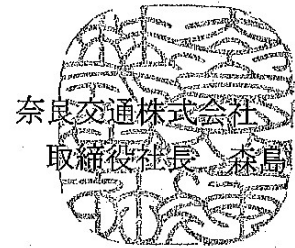




奈交乗事第248号

令和4年3月23日

生駒市長 小紫 雅史 殿



貴市内バスネットワーク維持に向けた協議の申し入れについて (依頼)

謹啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社社業につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

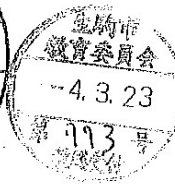
とりわけコロナ対策として、ご支援を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、ご高承のとおり弊社は、人口減少、少子高齢社会の進展により路線バスの輸送人員が平成2年をピークに半減する中、需要とニーズに応じた運行計画への見直し、人件費を中心とした経費抑制に加え、他事業も含めた企業全体の収益で収支均衡をとることによって、永年貴市内バスネットワークを維持してまいりました。

しかしながら現在、貴市内バスネットワークは、新型コロナウイルス感染症流行の影響によるリモートワークなど新しい生活様式への変容等により通勤・通学需要が縮小するなどこれまでにない危機的な状況にあります。

これまでの間、弊社では、バス事業継続のため雇用を確保しつつ、適正な運行計画への見直しなど諸経費全般の大幅な費用削減を実施いたしましたが、令和2年度決算では19億円の当期純損失を計上する結果となりました。

貴市内バスネットワークの今後の需要については、コロナ収束後も前述のとおり、新しい生活様式への変容等により移動ニーズが縮小することが懸念されるなど、コロナ前までの回復は到底見込めない厳しい状況で推移するものと思われま。このような中、大幅な赤字に陥っている貴市内の5路線については、現行の仕組みおよび運行計画での維持は極めて困難であり、高齢社会の進展や貴市の都市計画を踏まえ、移動ニーズに応じた再編が急務であると考えております。



以上のような状況から、今後の持続可能性を念頭に運行計画をご提案申しあげ、ご検討賜りたく存じます。

つきましては、市民の皆様の負託に応えるためにも、これら路線について収支均衡を前提として、私どもが引き続き運行を担わせていただきたく、バスネットワーク確保に向け下記の日程でご協議をお願い申しあげます。

何卒、本主旨をご理解頂き、ご検討賜りますよう重ねてお願い申しあげます。

謹白

記

1. 貴市内路線3路線

路線名	運行区間
ひかりが丘住宅	生駒駅（南口）～白庭台駅～ひかりが丘
生駒ニュータウン	生駒駅（南口）～あすか野センター～白庭台駅
北田原	生駒駅（北口）～北田原

令和5年4月以降の運行について、令和5年2月までを目途にご協議をお願いします。

2. 貴市内に跨る広域な基幹路線2路線

路線名	運行区間
高の原高山	高の原駅～学研奈良登美ヶ丘駅～高山サイエンスタウン
富雄庄田	富雄駅～学研北生駒駅～傍示～生駒北スポーツセンター

令和5年10月以降の運行について、令和4年12月までを目途に奈良県地域交通改善協議会においてご協議をお願いします。

以上